

H26年7月8日

市川の歴史

第 1 号

発行：八戸市立市川中学校地域学校連携協議会

校長：馬渡教二

会長：小向龍悦

今年度から市川中学校地域学校連携協議会だよりとして、私たちのまち「市川」の歴史等に関する広報紙を発行します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



「市川」について



今私たちが住んでいる旧市川村は、現在の八戸市大字市川町や松ヶ丘、多賀台、北インター工業団地、桔梗野工業団地からなる地域です。江戸時代には、盛岡藩領五戸通りに属しており、(八戸藩でない)当時、市川村と言う場合は上市川村(現在の五戸町)を含む広い範囲を指すことが多く、含まない場合には、下市川村などと表記されていました。明治22年(1889)の市町村制施行までは下市川村、施行後は青森県三戸郡市川村と改称されました。

その後、市川村は昭和30年(1955)の4月に八戸市に編入合併して現在に至っています。昭和26年(1951)には三戸郡市川村立轟木中学校と多賀中学校の廃校に伴い、市川中学校が創立されました。(今年は創立64周年)その時の学校名は、青森県三戸郡市川村立市川中学校でした。

現在の市川地域には、北部に水産加工団地、南西部に八戸北インター工業団地と八戸ハイテクパーク、中央に桔梗野工業団地があり、八戸市内有数の産業集積地域となっています。ということで、当地域は急速に姿を変えています、緑豊かな田園と山林が残る一方で産業の集積と都市化が進む地域であるとも言えます。

また、市川地域は八戸市内で工場数が第1位、従業員数も第1位、生産額は第2位(第1位は三菱製紙工場等のある下長地区)で、八戸市のために貢献しているのではないかと考えています。 ※平成26年6月末日の人口は12,554人、世帯数は5,679。

尚、市川中学校の南側を流れる「五戸川」は、大正末期までは「市川」と呼ばれていましたが、大正12年(1923)に「五戸川」に統一されました。(今から91年前)

以下、次号へ

八戸市立市川中学校地域学校連携協議会教育コーディネーター：木村 隆一

参考資料：「新編八戸市史・地誌編」「百石町史」「流れる五戸川」ほか

